

「生活分野」に係る取組(案)について

基本的方針「施策の方向性」と取組イメージ		
(1) 日本語学習機会の提供		
● 生活者に対する学習機会の提供		
【取組イメージ】	取組	
○空白地域や日本語教育環境の不十分な地域における学習機会の確保	日本語学習機会の確保・充実	日本語教室の新規開設・拡充の支援
○日本語教室に通うことができない外国人住民の学習しやすい環境づくり	日本語学習機会の確保・充実	オンライン教室の開設 オンライン教材の開発
○日本語教育の関係機関によるネットワークの構築と情報共有・発信	推進体制の整備	地域日本語教育推進セミナーの開催
● 学習ニーズ把握及び日本語教育に関する情報発信		
【取組イメージ】	取組	
○日本語教育に関する各機関と連携した実態調査等による日本語能力や必要な支援等の適切な把握	日本語学習機会の確保・充実	地域日本語教室を対象とした実態調査等の実施 市町村を対象とした実態調査等の実施 日本語教室空白地域調査の実施
○住民登録等の機会を活用した直接的な情報提供やウェブサイト等における情報発信内容の充実	日本語学習機会の確保・充実	日本語学習に関する情報の発信 外国人住民等からの日本語学習に関する相談への対応
(2) 日本語教育の水準の維持・向上		
● 教育人材の確保		
【取組イメージ】	取組	
○人材確保に向けた説明会や分野(生活、労働、教育)や指導レベルなどに応じた研修機会の提供	日本語教育に携わる人材の養成と活躍の促進	大学等の専門機関と連携した日本語指導者の養成 日本語学習支援者の養成 OJTによる実践の場の提供 地域日本語教室における研修等の支援 日本語教育人材のブラッシュアップの支援
○「あきた日本語サポーター」の周知・登録の促進による教育人材の掘り起こし	日本語教育に携わる人材の養成と活躍の促進	日本語教育人材バンク(あきた日本語サポーター)の運用 学生ボランティア等の育成支援
○在住外国人等の言語や文化、価値観など様々な違いを受け止めることができる人材の養成・育成・定着に向けた取組	日本語教育に携わる人材の養成と活躍の促進	母語支援者の確保・育成 【再掲】日本語教育人材のブラッシュアップの支援
● 相談・支援体制の確保		
【取組イメージ】	取組	
○コーディネーター人材の配置や専門機関の設置等による地域日本語教室等からの相談体制の整備	推進体制の整備	地域日本語教育総括コーディネーターの配置
○日本語教育人材間の顔の見えるネットワークづくりや情報共有のための交流会・研修会の開催	日本語教育に携わる人材の養成・支援	オンライン交流会の定期開催

(3)日本語教育等に関する理解と関心の醸成		
● 日本語教育に係る各主体の意識向上		
【取組イメージ】	取組	
○ 日本語教育の必要性や多文化共生社会の実現に向けた理解を促進するための研修会やセミナー等による関係機関の意識向上	県民・企業・関係者の理解・関心の醸成	あきた多文化共生フォーラム(仮)の開催
○ ホームページやSNS等による多言語での情報発信、セミナーの開催等による在住外国人等の日本語学習に関する意識の向上	県民・企業・関係者の理解・関心の醸成	【再掲】外国人住民等への日本語学習情報の発信
		全県スピーチコンテストの開催の支援
● 県民向け多文化共生理念の普及・啓発		
【取組イメージ】	取組	
○ ホームページやSNS等による県内の日本語教育に関する情報や多文化共生に関する情報の発信	県民・企業・関係者の理解・関心の醸成	広報媒体による多文化共生理念の発信
○ 外国人住民等の市町村の行事等への参加促進や市民講座の講師活用など、相互理解の場の創出	県民・企業・関係者の理解・関心の醸成	AIAコミュニティーサポーターの紹介(既存)
○ 県民を対象とする国際理解講座や国際交流イベントなど外国人住民等と交流する機会の創出	県民・企業・関係者の理解・関心の醸成	国際理解講座やインターナショナルデイ等の開催(既存)
○ 県民向け研修などによる「やさしい日本語」の普及・啓発	県民・企業・関係者の理解・関心の醸成	「やさしい日本語」の普及・啓発